



平成 30 年 4 月 25 日

各 位

上場会社名 株式会社三越伊勢丹ホールディングス
代表者 代表取締役社長執行役員 杉江 俊彦
(コード番号 3099 東証第 1 部、福証)
問合せ先責任者 総務部広報・株式ディビジョン長 藤井 一郎
(TEL 03-6205-6003)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期において、特別損失を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 1 月 31 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の連結子会社である株式会社三越伊勢丹及び株式会社三越伊勢丹フードサービスが保有する店舗設備等について、現在の事業環境及び今後の見通しを勘案し、減損損失約 110 億円を特別損失として計上いたします。

2. 業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,270,000	22,000	24,000	8,000	20.53
今回発表予想(B)	1,268,000	24,000	27,000	△1,000	△2.56
増減額(B-A)	△2,000	2,000	3,000	△9,000	—
増減率(%)	△0.2%	9.1%	12.5%	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	1,253,457	23,935	27,418	14,976	38.27

修正の理由

売上高はほぼ予想通りに推移する見込みとなりました。利益面では、引き続き経費コントロールを進めた結果、営業利益と経常利益は予想を上回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は減損損失及び構造改革に伴う特別損失の計上等に伴い赤字になる見込みで、予想を大きく下回るため業績予想を修正いたします。

(注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる可能性があります。

以 上